

兵庫県立 考古博物館 NEWS

Vol.24



Hyogo Prefectural
Museum of
Archaeology



2019 Autumn-Winter

2019年秋冬号

- 特別展「埴輪の世界 ―埴輪から古墳を読みとく―」
- 古代鏡展示館 秋季企画展「龍 翔ける!」
- 史跡大中遺跡の整備実施中!!
- 企画展「ひょうごの遺跡2020」

池田古墳出土品重要文化財指定記念 特別展

埴輪の世界

―埴輪から古墳を読みとく―



『古墳づくり(朝来市池田古墳)』作画:早川和子



台付家形土器(倉敷市 女男岩遺跡)
【岡山県指定重要文化財】(公財)倉敷考古館蔵



水鳥形埴輪(朝来市 池田古墳)
【国指定重要文化財】当館蔵



牛形埴輪(高槻市 今城塚古墳)
高槻市立今城塚古代歴史館蔵

池田古墳出土品 重要文化財指定記念特別展

「埴輪の世界 ―埴輪から古墳を読みとく―」

期間：2019年10月5日(土)～12月1日(日)

埴輪はにわと聞いて、皆さんがまず思い浮かぶのは人物の埴輪ではないでしょうか。埴輪はテレビのキャラクターや、ゆるキャラにも登場していますね。しかし、埴輪=人物埴輪ではありません。埴輪とは、有力者の墓である古墳に並べられた土製品です。その起源は弥生時代の終わり頃に墳墓に並べられた大型の壺と器台で、時代とともに、円筒埴輪や朝顔形埴輪となり、古墳の埴丘に並べられました。

また、家や動物、人物など当時に実在したものをまねているものを形象埴輪と呼び、その多彩な姿は古墳時代の人々の考え方や生活の様子を現代に伝えています。これら埴輪が古墳にならべられた意味や役割については、古墳周辺や埴丘上で行われた葬送儀礼を後世に伝えるためという説や古墳を他界(あの世)と理解し、埴輪は亡くなった人があの世の生活に必要なものとして置かれたという説など、明治時代以来さまざまな見解が提示されています。

近年発掘調査が行われた但馬最大の前方後円墳である池田古墳では、水鳥形埴輪をはじめ家形埴輪、船形埴輪などが当時の様子を想像させる状態で見つかり、古墳における埴輪の役割を具体的に推測できる事例となりました。

本展では、国の重要文化財になった池田古墳出土埴輪の役割を中心に、各地の古墳で見つかった埴輪から、その変遷や役割をたどり、また中国の墓からみつけた明器(死者とともに墓に納めた器物で死後の世界で用いるため、日用の器物を木ややきものなどで模したもの)と対比することで、古墳時代の人々が持っていた死生観や、埴輪が並べられた古墳が表現した世界についても考えます。皆さんもこの展覧会で『埴輪の世界』をぜひ体験してください。

(学芸課 松岡千寿)



女子埴輪(高槻市 今城塚古墳)
高槻市立今城塚古代歴史館蔵



鶏形埴輪(高槻市 今城塚古墳)
高槻市立今城塚古代歴史館蔵



池田古墳の埴輪たち(朝来市 池田古墳)兵庫県立考古博物館蔵

加西分館 古代鏡展示館 秋季企画展

「龍 翔ける！」

期間：令和元年9月13日(金)～令和2年3月10日(火)
 場所：加西分館「古代鏡展示館」(加西市豊倉町飯森1282-1)

龍は、人間が作り出した架空の生き物です。その姿は、蛇のように長い体に四脚と角やひげをもち、自在に天空を翔けて、水に潜んでは雨をもたらすとされました。

さらに、時代とともに変幻します。自然の恩恵をもたらし、時に災いを起こす靈獣として畏怖されると同時に、東方の守護獣や皇帝の象徴になり、尊貴で聖なる神獣として畏敬されてきたのです。

今回の展示では、千石コレクションの銅鏡や祭礼の器に描かれた飛翔する龍の勇姿を、「龍の胎動」／「龍の聖性」／「龍の躍動」の三つのテーマで追います。

さて、龍を描いた「翔龍鏡」70面の中に、300の龍を見つけることができるでしょうか？ 新たな吉祥のワースポットで、たくさんの龍に出会ってください。

(加西分館 種定淳介)



とうでつもんゆう
饗養紋卣【商(殷)】



ちりゅうもんきょう
螭龍紋鏡【前漢】



うんりゅうもんはつかきょう
雲龍紋八花鏡(龍のモチーフ)【唐】

史跡大中遺跡 (播磨大中国古代の村) の整備実施中!!

史跡大中遺跡は、昭和47(1972)に史跡公園「播磨大中国古代の村」として整備され、竪穴住居2棟が復元されました。平成17(2005)年からは県立考古博物館整備事業の一環として竪穴住居の復元や園内の整備が進められ、開館後は竪穴住居復元プロジェクトを立ち上げて、様々な団体と連携しながら竪穴住居の復元を進め、現在にいたっています。

公園には11棟の竪穴住居がありますが劣化が目立ち、また公園内の樹木も茂って見通しが悪くなるなど、古代の村の魅力を感じる事が難しくなってきました。

このため考古博物館では、遺跡公園を最大限に活用できるよう、竪穴住居の修理や公園内の植栽の整備を進めています。新しくなった竪穴住居を活用し

た新しい古代体験も計画していますので、ご期待ください。

(学習支援課 岡本一秀)



復元された竪穴住居(1101号住居)



企画展
ひょうごの遺跡 2020 — 調査研究速報 —

令和2年 1月18日(土)～3月15日(日)

兵庫県が実施した発掘調査と出土品整理から、最新の調査成果を一堂に公開する展覧会。今回は平成30年度に刊行した発掘調査報告書に掲載した遺跡と令和元年度に発掘調査を実施した遺跡から選りすぐりの資料を展示します。



広瀬1号墳(養父市) 出土
装飾付子持壺

考古博物館 web情報発信中!

ホームページ・ブログ続々更新中。
アクセスお待ちしております!



【H P】<http://www.hyogo-koukohaku.jp>
【blog】<http://koukohaku.blogspot.jp>

イベント

当日受付

問合せ
TEL 079-437-5562 (学芸課)

11/2土	大中遺跡まつり
普段とはちがう、特別な古代体験が楽しめます! [播磨町と共催]	
時間	10:00～15:00
料金	無料
対象	どなたでも
1/2木	考古博 DE お正月
新春のあそびを用意しています。 [一部観覧券要]	
時間	13:00～15:30
料金	無料
対象	どなたでも

講演会

当日受付

時間 13:30～15:00

当館講堂[無料]
定員120名

※混雑時は開場時間を早める場合があります。

秋の特別展 (開場時間 12:00)

10/19土	但馬の王墓・池田古墳出土品を読みとく 横須賀倫達(文化庁文化財調査官)
10/27日	古墳時代の船 中村 弘(当館学芸課長)
11/16土	埴輪の源流—古代中国と日本— 和田晴吾(当館館長)

兵庫考古学研究最前線2019 (開場時間 12:50)

12/7土	考古学からみた人形ながし 藤田 淳(兵庫陶芸美術館所長補佐兼学芸課長)
1/11土	アルタイ山中のクルガン(墳墓) 和田晴吾(当館館長)
2/1土	古墳と中世墓 藤原伶史((公財)兵庫県まちづくり技術センター技術職員)
2/15土	古墳時代の玉かざり 鐵 英記(当館埋蔵文化財課長)
2/29土	本をつくる仕事、こぼれ話 菱田淳子(当館学芸員)
3/7土	堅穴住居跡が語るひょうごの歴史 山下史朗(兵庫県教育委員会文化財課長)

10/13日 関西・考古学の日2019 記念講演会

「埴輪の世界—埴輪から古墳を読みとく—」

時間 13:00～16:30 (12:00受付開始)

要予約 お問い合わせはこちら
(公財)兵庫県まちづくり技術センター
TEL 079-437-5561 (月～金)

3/8日 発掘調査速報会

(公財)兵庫県まちづくり技術センターの調査担当者が最新の発掘成果を速報
時間 13:30～16:00 (12:50から整理券配布)

体験講座

要予約

往復はがき▶抽選

申し込みは
下記参照

11/17日	古代の技に学ぶかごづくり～天然のつる～	締切 10/6
時間	10:00～12:00	定員 10名 料金 500円 対象 高校生～
11/24日	組み方いろいろ組紐づくりの基本を学ぶ	締切 10/13
時間	10:00～12:00	定員 10名 料金 500円 対象 高校生～
12/1日	天然石(蛇紋岩)のまが玉づくり	締切 10/20
時間	10:00～15:00	定員 15名 料金 500円 対象 小4～
12/15日	古代の織りかたでポシェットづくり	締切 11/3
時間	10:00～15:00	定員 8名 料金 1000円 対象 小4～
1/19日	チャレンジ! 銅鏡づくり	締切 12/8
時間	10:00～15:30	定員 12名 料金 1000円 対象 小4～
2/2日	古代のガラスアクセサリーづくり	締切 12/22
時間	10:00～15:30	定員 12名 料金 1000円 対象 高校生～

体験講座

申し込み方法

8週間前から受付▶6週間前に抽選▶結果送付

往復はがきに以下の内容を記入し、当館までお送りください。

- 講座開催日・講座名
- 氏名・年齢(全員分・4名まで)
- 住所(代表者)
- 電話番号(当日連絡のつく番号)

お問い合わせは
こちら

定員に満たない場合、1週間前まで電話受付。TEL 079-437-5564(学習支援課)

- 「特別展展示解説」は10/20(日)、11/3(日祝)、12/1(日)に実施。13:30～14:00 ※要観覧券
- 「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:30～15:30
- イベントについての詳細情報は当館ホームページやチラシでご確認ください。

古代鏡展示館

加西分館からのお知らせ
TEL 0790-47-2212

企画展「龍 翔ける!」関連行事

12月7日(土) 講演会「唐鏡寸話～近年の研究成果から」要予約
中川 あや(奈良国立博物館 主任研究員) 予約開始11月2日～

10月26日(土) 特別解説会「龍 翔ける!」要予約 要観覧券
学芸員が展示の見所を紹介。その後展示室で 予約開始9月16日～
実物の解説を行います。

両日とも 会場/古代鏡展示館2階(県立フラワーセンター第1会議室)
時間/13:30～15:00 定員/各回先着30名 料金/無料 対象/中学生以上

ギャラリートーク 要観覧券 令和2年
10月5日(土)・11月2日(土)・2月1日(土) 時間/13:30～14:00

冬季スポッポ展示のお知らせ

「干支 子」 令和2年 1月2日(木)～3月10日(火)
子年の干支にちなんで鏡を紹介します。

加西市豊倉町飯森1282-1(兵庫県立フラワーセンター内) TEL 0790-47-2212

兵庫県立考古博物館NEWS
vol.24 2019 Autumn-Winter

発行年月日 令和元年9月1日

編集・発行 兵庫県立考古博物館
〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1
TEL.079-437-5589
FAX.079-437-5599
<http://www.hyogo-koukohaku.jp>

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西I.C.から約3km
- 駐車場/町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用
ください(普通車1回200円)
- 休館日/月曜日(祝休日の場合は翌平日)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド
兵庫県立考古博物館

